

平成28年度

佐久市社会福祉協議会事業計画



佐久市社会福祉協議会
イメージキャラクター
さーくちゃん

平成28年度 社会福祉法人佐久市社会福祉協議会事業計画

【基本方針】

社会福祉法人制度改革により、社会福祉法人は、組織の構成や財務規律などに大きく影響を受けることとなります。

さらに、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるための医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保された体制の構築が近い将来の課題となります。

このような状況の中、佐久市社会福祉協議会は、生活や権利を擁護するための日常生活自立支援事業を始め、成年後見事業の対応が求められています。

そして、地域福祉事業や介護保険事業において、住民サービスの低下をまねかないように配慮し、組織としての安定的な経営を図るための中長期計画を作成する必要があります。

また、見える社協をめざし、事業内容や財務諸表等を公開し、第二次佐久市地域福祉活動計画の基本理念「人と人がつながり 支え合う地域づくり」の達成を目指し事業を進めます。

【基本目標】

1 みんなで支え合う人づくり

地域住民同士の自主的・主体的な支え合い意識を啓発することにより、市民の連帯意識を高め、積極的に地域活動に関わることができる人材育成と地域活動を支える組織の育成や活性化を図る。

2 安心・安全に暮らせる社会づくり

誰もがわかりやすく利用しやすいサービス情報の提供により、利用者のニーズに合ったサービスを継続的に提供できる仕組みなど総合的にサービスの提供を行ない、また、安心して子供を産み育てる地域づくり、平時や災害時を問わず地域住民がお互いに支え助け合う地域の形成を図る。

3 心とからだの健康（生きがい）づくり

住民一人一人が心と身体の健康管理、体力増進など、自らの健康づくりを実践できる場づくりや予防事業を推進し、あわせて、優れた知識・技術や知恵を持つ元気な高齢者の社会参加を促進し、健康で生きがいを持って地域活動へ参加しやすい仕組みづくりを図る。

【事業実施計画】

- 1 みんなで支え合う人づくり
 - (1) 地域を支える人づくり
 - ・佐久市社会福祉大会の開催
 - ・佐久ふれあい広場の開催
 - ・ボランティアの育成
 - ・社協ホームページの活用
 - (2) 福祉の心の育成
 - ・社会福祉普及校指定事業の実施
 - ・福祉体験教室（小・中・高校・ボランティアグループ等）開催
 - ・Let's チャレンジ！ボランティアの開催
 - ・社協会員の加入促進
 - ・共同募金の募集推進及び配分金の効果的活用
 - ・社協広報誌「ぴーぷる」の発行
 - ・社協ホームページの活用
 - (3) 地域活動を支える組織の活性化と拠点づくり
 - ・ボランティアセンター機能の充実
 - ・敬老会助成事業
 - ・地区社協活動の支援並びに助成
 - ・赤十字奉仕団との連携
 - ・災害ボランティア講座開催
 - ・福祉団体助成事業

- 2 安心・安全に暮らせる社会づくり
 - (1) 安心して子供を生み育てられる仕組みづくり
 - ・ファミリーサポート事業「ほっと・ホット」
 - ・ファミリーサポート“助っ人”養成講座
 - ・子育てグループ活動の支援
 - ・保育協会・PTA 連合会との連携
 - ・民生児童委員会活動との連携
 - ・老人クラブ連合会との連携
 - ・パパ・ママ応援事業【新規事業】
 - (2) 人にやさしいまちづくり
 - ・福祉施設の充実
 - ・障害福祉サービス事業就労継続支援（B型）

- ・バリアフリーマップの作成【新規事業】
- (3) 福祉サービスの適切な利用の促進
 - ・地域包括支援センターとの連携
 - ・心配ごと相談所の開設
 - ・日常生活自立支援事業
 - ・結婚相談所の開設、結婚イベントの開催
 - ・成年後見支援センター運営【新規事業】

3 心とからだの健康（生きがい）づくり

- (1) 健康づくりの推進
 - ・ふれあいいきいきサロン事業
 - ・介護予防通所型サービスA事業
 - ・介護予防・日常生活支援総合事業
- (2) 生きがいづくりの推進
 - ・ふれあいいきいきサロン事業
 - ・老人クラブ活動の支援
 - ・希望の旅事業の実施
 - ・シルバークッキングスクール事業の実施
 - ・福祉団体の育成並びに助成、活動の支援
 - ・シニアの“力”アップ講座開催
- (3) 介護保険事業・障がい福祉サービス事業の利用促進
 - ・指定居宅介護支援事業
 - ・指定訪問介護事業
 - ・指定通所介護事業
 - ・障がい福祉サービス事業
 - ・特定相談支援事業
 - ・あいとびあ臼田短期入所事業
 - ・福祉有償運送事業
 - ・介護予防・日常生活支援総合事業
- (4) 地域福祉を充実し促進するための仕組みづくり
 - ・災害ボランティアセンターの設置
 - ・災害ボランティア養成講座開催
 - ・災害時住民支え合いマップの作成協力
 - ・生活福祉資金貸付事業
 - ・各区との連携
 - ・高齢者等給食サービス事業

- ・安心コール事業
- ・ふれあいいきいきサロン世話人交流会事業
- ・福祉バス運行事業
- ・お元気レター事業
- ・認知症徘徊 SOS 模擬訓練実施【新規事業】
- ・高齢者緊急連絡表作成配布【新規事業】

新規事業説明

2 安心・安全に暮らせる社会づくり

(1) 安心して子供を生み育てられる仕組みづくり

・パパ・ママ応援事業

育児ストレスの解消を図り、情報交換・仲間づくり・世代間交流等のきっかけを提供する。

パパ講座・ママ講座の開催（子育てサポーターの協力による託児所設置）

(2) 人にやさしいまちづくり

・バリアフリーマップの作成

障がい者等の外出の機会が多く持てるように、市内の公共施設や民間の商業施設のバリアフリー情報をマップに表し、HPに掲載する。

佐久市や佐久市観光協会のHPからもリンクできるようにして、市民はもとより市外からの来訪者の利便向上を図る。

(3) 福祉サービスの適切な利用の促進

・成年後見支援センター運営

平成27年まで、佐久広域連合が所管していた業務を受託し、法人後見を行うことにより支援を必要とする方へ事業を実施する体制の充実を図る。

福祉課に成年後見支援センターを設置し、業務を行う。

3 心とからだの健康(生きがい)づくり

(1) 地域福祉を充実し促進するための仕組みづくり

・認知症徘徊SOS模擬訓練実施

認知症による徘徊行動に対し、地域で見守る体制作りを進めるため、モデル地区を設けて、「認知症についての講座」、「サポーター養成」、「模擬訓練」を実施し、徘徊者の早期発見につなげる。

・高齢者緊急連絡表作成配布

市内の1人暮らし高齢者を対象に、緊急時に関係者及び各関係機関へ早期に連絡をつなげるための連絡表を配布する。

連絡表は、冷蔵庫扉表面の見やすい位置にマグネットを利用し、貼り付ける方法により利用しやすいものとする。

平成28年度 重点実施事業

◇社協ホームページの更新

社協事業等の啓発宣伝並びに新規事業であるバリアフリーマップの情報の掲載や最新情報の更新を随時可能な様式に改め、より多くの方に活用できるように努めていきます。



◇ファミリーサポート事業「ほっと・ホット」

介護支援員、育児支援員の養成と確保を行い、事業の充実を図っていきます。



育児支援の様子



介護“助っ人”養成講座

◇ふれあいいいきいきサロン事業（サロン世話人交流会）

ふれあいいいきいきサロン実施地区の拡大とサロン世話人交流会の充実を図っていきます。



ふれあいいいきいきサロンの様子

◇新規5事業